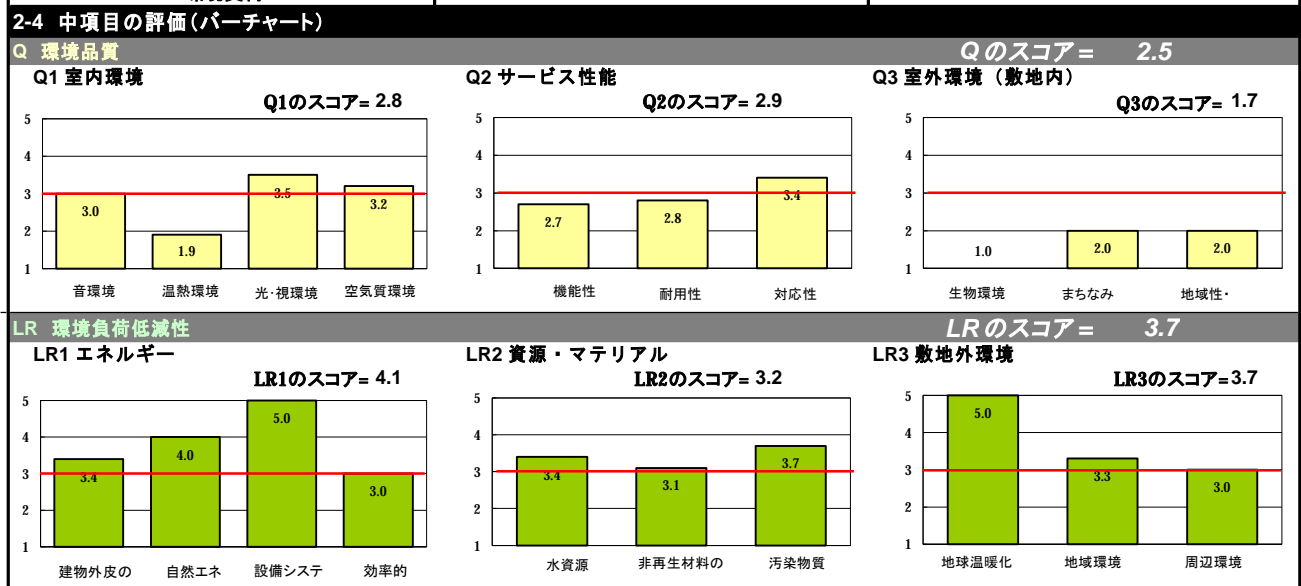
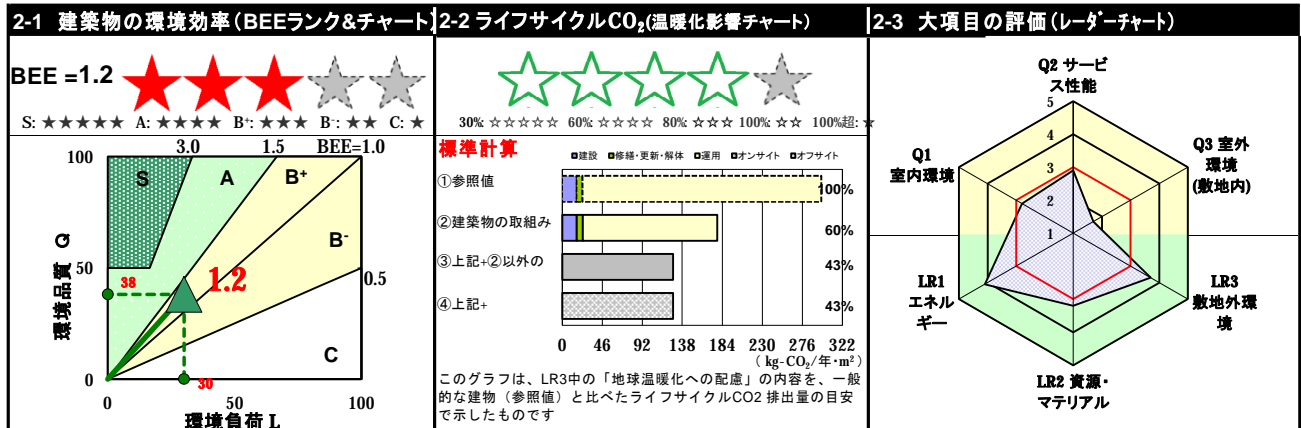
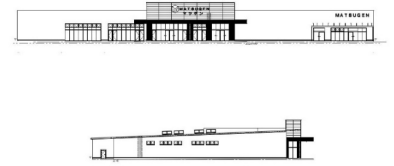


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)松源泉佐野南店新築工事	階数	地上1F	
建設地	大阪府泉佐野市南中安松	構造	S造	
用途地域	準工業地域・防火地域指定なし	平均居住人員	273 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)	
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2025年9月30日	
敷地面積	8,826 m ²	作成者	芝本 好司	
建築面積	2,762 m ²	確認日	2025年10月10日	
延床面積	2,734 m ²	確認者	桑原 太郎	



3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 そして、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。 また、建築物衛生法を満たす換気量の1.2倍となっている。	Q2 サービス性能 階高:3.9m以上。 そして、0.1≦[壁長さ比率]<0.3。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI=0.94。 そして、トップライトを使用している。 また、BEI=0.38。	LR2 資源・マテリアル 節水マなどに加えて、節水型便器も採用している。 そして、LGS使用している。 また、発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率43%。 そして、燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)松源泉佐野南店新築工事					
建設地		大阪府泉佐野市南中安松					
用途／区分		事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					5	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	断熱性能					3	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外			評価対象外	
④	エネルギー消費性能					5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外			評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分				6	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					5.0	5
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上					2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善					3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					3.4	3
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		ライフサイクルCO2排出率43%。 BPI _m =0.94、BEI _m =0.38。 トップライトを使用している。					